

# 平成25年度 地域の元気づくり事業報告書

真庭市老人クラブ連合会

<p>① 地域の概要</p>	<p>県の最北端に位置し、県内最大の面積をもっている。 頼山会は、ほぼ中央部に位置し、かつて真庭郡の政治・経済の拠点であった地域に隣接している。また、JR勝山駅が近くにある。 農家でも、商家でもなく、退職公務員や小企業で働いている人が多い、少子高齢化の人口構成である。</p>
<p>② 活動状況</p>	<p>例年の活動の様子は、地内にある市道の緑地帯を、ボランティアで管理（剪定、1草刈り、花づくり等）をする地域環境美化活動と、健康づくりでは、有志がグラウンドゴルフを行う程度でした。 今年度は、上記の内容をふくませ「地域の元気づくり事業」として行いました。</p> <p>(1)ペタンクの集い ペタンクは、平易で狭い土地でも楽しくできるので、これを核にして地域全体に広げる。 月1回実施している地域美化作業の後で行えば、人が集えると考え、ペタンクによる地域づくりに取り組み、成果をあげることができました。</p> <p>(2)友愛調理教室 楽しく作って、楽しく食べることを目的に開催した。 また、欠席の方、体調が悪く行事等へ参加が出来にくい方を対象に、作ったお菓子里に手紙を添えて訪問し、声掛けを行い安否を確認した。</p>

<p>③ 活動の 効果</p>	<p>期待値以上の大きな効果をあげることができた。      頼山会は、且東自治会、且西自治会という2つの組織で構成されている。これに老人クラブ未加入の自治会にお住いの方から加入の希望があり、各行事に参加している。      頼山会ペタンク大会、且西ペタンク大会、且東ペタンク大会と広がり、ペタンク人口が増え、同時に絆が強くなってきた。これは地域づくりである。</p>
<p>④ 課題・ 問題点</p>	<p>悪天候が続く時期等は、グラウンドがぬかるみ競技不可となる為、ペタンクを計画通りに行えないので、屋根つきの施設があればよいと思う。      また、競技に参加したくても出来ない方への対処について考えないと、友愛の基盤に立脚した、ペタンクによる地域づくりが弱いものになる。</p>
<p>⑤ 今後の 進め方</p>	<p>①ペタンクを通して強まった絆を、地内環境美化活動や小学生の登下校時見守り等に広め深めたい。      ②60～80才代の会員が楽しめるとともに、地域全体の情勢に対処できるように心がけ、地域づくりの担い手になれるように努めたい。      ③ペタンクの集いを継続する。      また、他地域の大会に参加して技能を高め、小さい団体より、広い場に立てれるようにしたい。</p>